

鉄器招来



～八日市地方遺跡から弥生社会を再考する～

東アジア最古となる「柄付き鉄製鉈^{やりみな}」が出土した八日市地方遺跡は、幾度にもわたる発掘調査で北陸の弥生時代像や高度なものづくり技術、日本海沿岸域を行き交う東西交流の実態を明らかにしてきました。新たな調査成果から見えてきたものとは何か、弥生時代研究を進める皆さんが探ります。



平成30年

11月18日(日) 10:00~15:30

どなたでもお気軽に
聴講できます

受講無料
申込不要

会場

サイエンスヒルズこまつ (わくわくホール)
小松市こまつ^の杜2番地 電話(0761) 22-8610

プログラム

- 10:00~10:10 開会挨拶
- 10:10~11:00 **講演「東アジアの古代鉄文化」**
村上 恭通(愛媛大学教授・東アジア古代鉄文化研究センター長)
- 11:10~11:50 **基調報告「弥生時代の石器と鉄器」**
禰宜田 佳男(文化庁記念物課主任文化財調査官)
- 11:50~12:30 **基調報告「柄付き鉄製鉈の発見!」**
～八日市地方遺跡の最新成果～
林 大智(公益財団法人 石川県埋蔵文化財センター)
- 休憩
- 13:30~15:30 **パネルディスカッション**
「八日市地方遺跡出土柄付き鉄製鉈が語るもの」
【コーディネーター】石川 日出志(明治大学教授・明治大学日本古代学研究所所長)
【パネリスト】村上 恭通・禰宜田 佳男・林 大智・下濱 貴子(小松市埋蔵文化財センター)



問合わせ先 (公財) 石川県埋蔵文化財センター
金沢市中戸町18-1 電話(076) 229-4477

主催: 石川県教育委員会・(公財) 石川県埋蔵文化財センター
共催: 小松市・愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター
石川県民大学校 開設講座